

ACDSee 2009 チュートリアル: [インポート] ウィンドウを使用して画像をインポートする

デバイス検出について

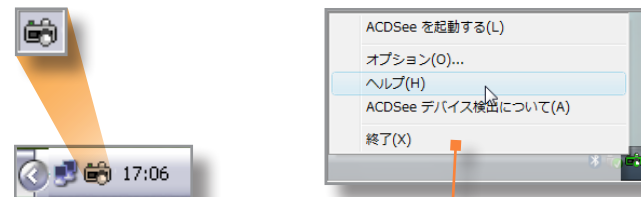
このチュートリアルでは、ACDSee の便利な [インポート] ウィンドウを使用して、デジタルカメラから画像をインポートする手順について解説します。[インポート] ウィンドウには、インポート中に設定することができる画像の保存および管理オプションが備わっています。

[インポート] ウィンドウの使用

画像のインポートは、ACDSee デバイス検出を使って簡単に行うことができます。CD がドライブに挿入される、あるいはカメラや携帯電話、スキャナ、フラッシュ デバイスとコンピュータが接続されると、ACDSee デバイス検出はそれらを自動感知します。デバイス検出は、ACDSee と一緒にインストールされる個別の小さなアプリケーションで、通常、バックグラウンドで起動します。インストールが完了すると、デスクトップの右下にある「タスクバーの通知領域」にアイコンとして表示されます。

インポートする画像の選択

画像を含むディスクを CD/DVD ドライブに挿入したり、カメラなどをパソコンに接続すると、デバイス検出のアイコンが緑色に変わり、[ACDSee デバイス検出] ダイアログが表示されます。

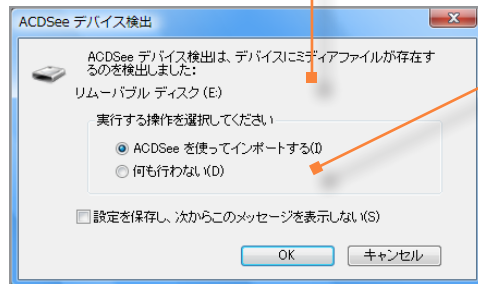


インポート設定の選択

管理設定の選択

インポートの開始

まとめ

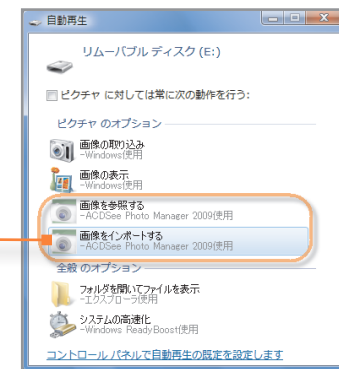


[ACDSee を使ってインポートする] を選択して [OK] をクリックすると、[インポート] ウィンドウが開かれます。

デバイス検出の詳細につきましては、デバイス検出のアイコンをクリックし [ヘルプ] を選択してください。また、同様にアイコンをクリックして、インポートオプションを変更することができます。

Windows Vista をご利用になっている、あるいはご利用のコンピュータに別の画像編集ソフトがインストールされている場合、デバイス検出ダイアログではなく次のようなダイアログが表示されることがあります。その場合には、[X] または [キャンセル] をクリックしてダイアログを閉じます。

ACDSee ロゴが表示されたら、[ACDSee Photo Manager 2009 でインポート] をクリックして、[インポート] ウィンドウを開きます。



ACDSee 2009 チュートリアル: [インポート] ウィンドウを使用して画像をインポートする

デバイス検出について

[インポート] ウィンドウの
使用

インポートする画像の選択

インポート設定の選択

管理設定の選択

インポートの開始

まとめ

[インポート] ウィンドウを使用して、インポートする画像の選択、フォルダの作成、名前の変更、自動回転といった作業をインポートと同時に行うことができます。また、カテゴリ、作者、注記、キーワードなどの情報をまとめて追加すると、画像の管理がしやすくなるだけでなく、作業時間も大幅に短縮されます。



インポートしたい画像
を選択します。

画像にカテゴリを適用
したり、キーワード、作
者、注記などの情報を
追加したりして、画像
を管理することができます。

画像のインポート中に、画像の保存先を選択したり、サブフォルダを作成したり、バックアップを作成したり、名前を変更したりという作業を行うことができます。

ACDSee 2009 チュートリアル: [インポート] ウィンドウを使用して画像をインポートする

デバイス検出について

[インポート] の表示セクションに、カメラに保存されているすべての画像のサムネイルが表示されます。インポートしたいサムネイルのみを選択します。サムネイルは、日付またはファイルの種類で表示することができます。

[インポート] ウィンドウの使用

インポートする画像の選択

撮影日ごとに画像を表示したい場合は、希望する日付を選択します。JPEG、RAW、TIF などファイルの種類ごとに画像を表示したい場合は、希望するファイルの種類を選択します。

インポート設定の選択

ズームスライダを使って、サムネイルのサイズを変更します。

管理設定の選択

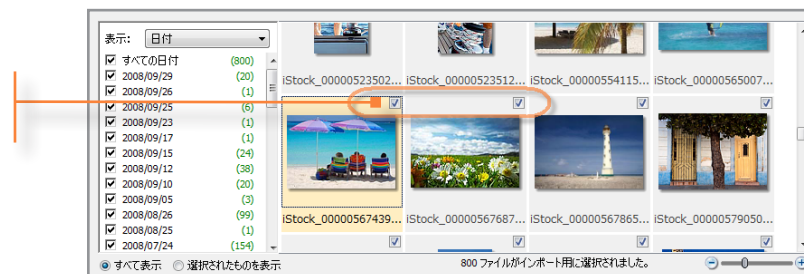
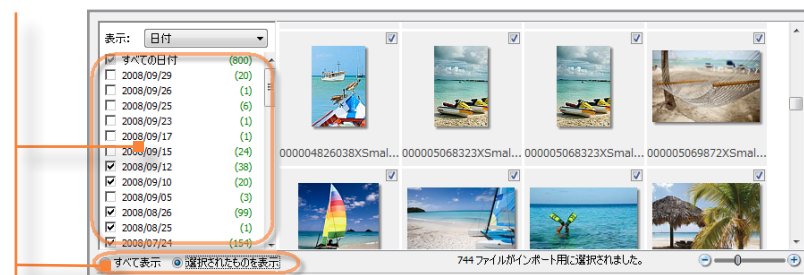
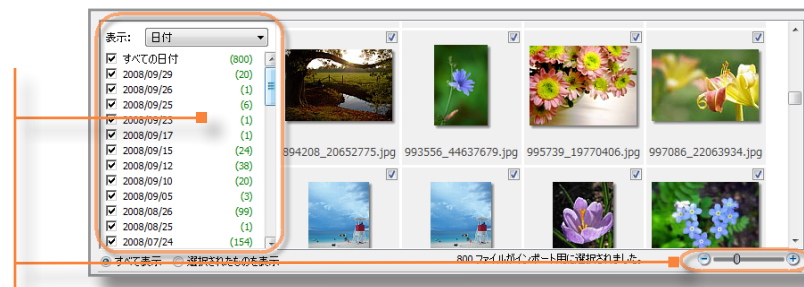
インポートの開始

まとめ

特定日の画像を選択したい場合は、[すべての日付] チェックボックスをクリックしてすべての画像の選択を解除してから、希望する日付のチェックボックスをクリックします。

選択された画像のみを表示するには、[選択されたものを表示] ラジオボタンをクリックします。

画像を個別に選択あるいは選択解除するには、各画像にあるチェックボックスをクリックします。



ACDSee 2009 チュートリアル: [インポート] ウィンドウを使用して画像をインポートする

デバイス検出について

[インポート] ウィンドウの使用

インポートする画像の選択

インポート設定の選択

管理設定の選択

インポートの開始

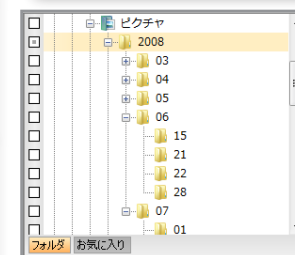
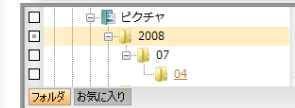
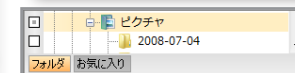
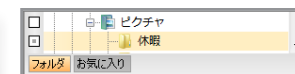
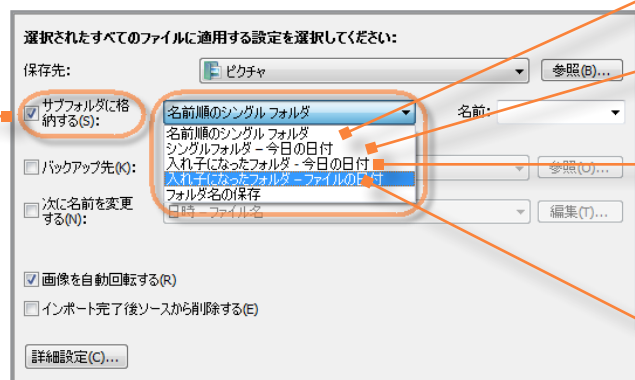
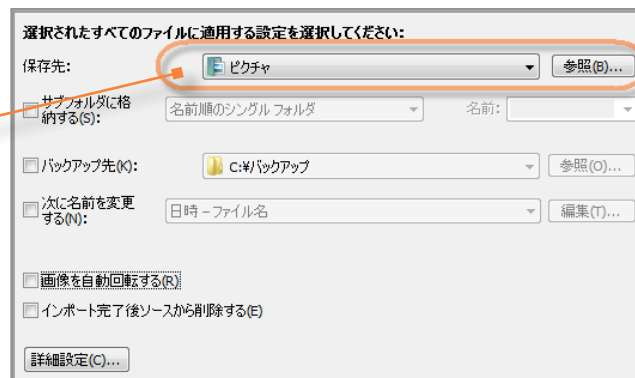
まとめ

[インポート設定] のセクションで、画像の保存先を指定し、必要であればサブフォルダを作成します。バックアップコピーの作成、名前の変更、自動回転を選択したり、カメラからのインポート完了後にカメラから画像を削除するなどを指定したりすることも可能です。

インポート設定のオプションを選択し、それらの設定を保存して、次回以降、カメラからインポートする際にそれらの設定を使えば、作業時間を短縮することができます。

ドロップダウンリストまたは [参照] をクリックして、画像の保存先を指定します。

サブフォルダに画像を保存したい場合は、[サブフォルダに格納する] チェックボックスを選択し、ドロップダウンリストから希望するオプションをクリックします。



ACDSee 2009 チュートリアル: [インポート] ウィンドウを使用して画像をインポートする

デバイス検出について

画像のバックアップを作成するには、[バックアップ先] チェックボックスを選択し、[参照] をクリックしてバックアップフォルダの場所を選択するか、新規フォルダを作成します。

[インポート] ウィンドウの使用

[サブフォルダに格納する] のオプションを選択している場合は、ACDSee がサブフォルダの選択肢と同一の複製を作成しますので、実際のフォルダと同一のバックアップが作成されることになります。そのため、画像を検索しやすくなります。

インポートする画像の選択

インポート設定の選択

インポート中に画像の名前を変更したい場合は、[次に名前を変更する] チェックボックスを選択します。ドロップダウンリストからフォーマットを選択するか、[編集] をクリックしてフォーマットを作成します。

管理設定の選択

ご利用になっているカメラの機種によっては、ダウンロードする際に画像を自動回転するものがあります。画像を自動回転させたい場合には、このオプションを選択します。

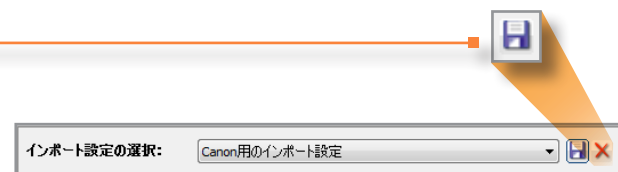
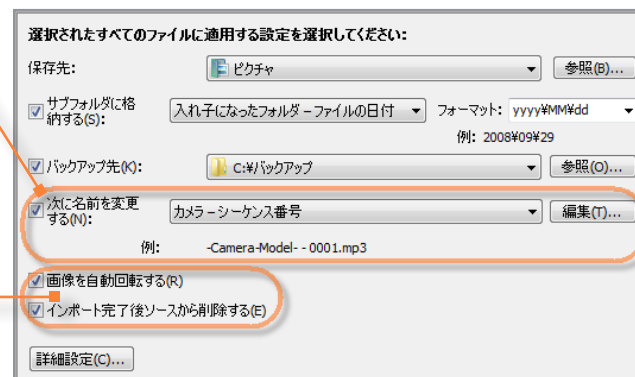
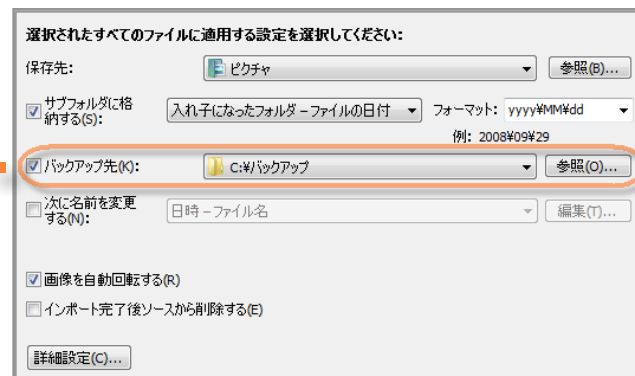
インポートの開始

コンピュータにコピーが完了後、カメラから画像を自動的に削除したい場合には、[インポート完了後ソースから削除する] の横にあるチェックボックスをクリックします。このオプションは、画像のインポートが無事完了したことが確認できた場合にのみ選択するなど、注意が必要です。

まとめ

インポート設定のオプションを選択したら、それらの設定を保存して、次回以降、カメラからインポートする際の時間を短縮することができます。

[保存] アイコンをクリックし、インポート設定の名前を入力してから [保存] ボタンをクリックします。



ACDSee 2009 チュートリアル: [インポート] ウィンドウを使用して画像をインポートする

デバイス検出について

[インポート] ウィンドウの使用

インポートする画像の選択

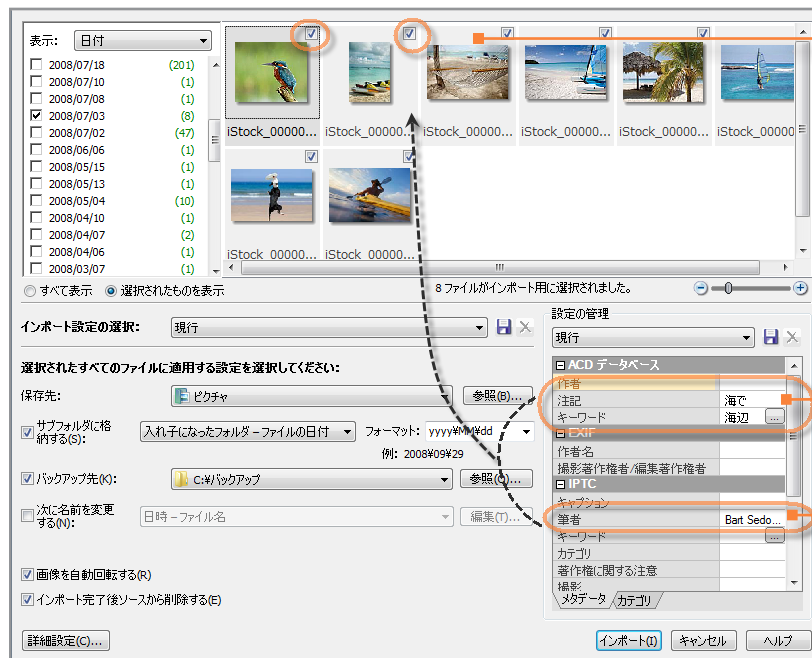
インポート設定の選択

管理設定の選択

インポートの開始

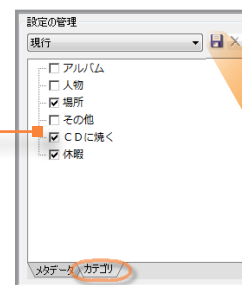
まとめ

インポートする画像を選択し、インポートオプションを選択したら、インポート後の画像検索が簡単になるように追加情報を加えます。[インポート] ウィンドウには、カテゴリやメタデータといった ACDSee 内でも使用可能な管理設定が含まれています。インポート作業中に画像を整理しておく、後で編集する必要がなくなるため、ユーザーの作業時間が短縮されます。



撮影者の名前、注記、キーワードなど、選択された画像に関する情報を入力します。

画像にカテゴリを追加すると、似たような画像をワンクリックで探すことができるため大変便利です。



設定のオプションを選択したら、それらの設定を保存することができます。これで次回以降、カメラからインポートする際の時間を短縮することができます。

[保存] アイコンをクリックし、設定の名前を入力してから [保存] ボタンをクリックします。

ACDSee 2009 チュートリアル: [インポート] ウィンドウを使用して画像をインポートする

デバイス検出について

[インポート] ウィンドウの
使用

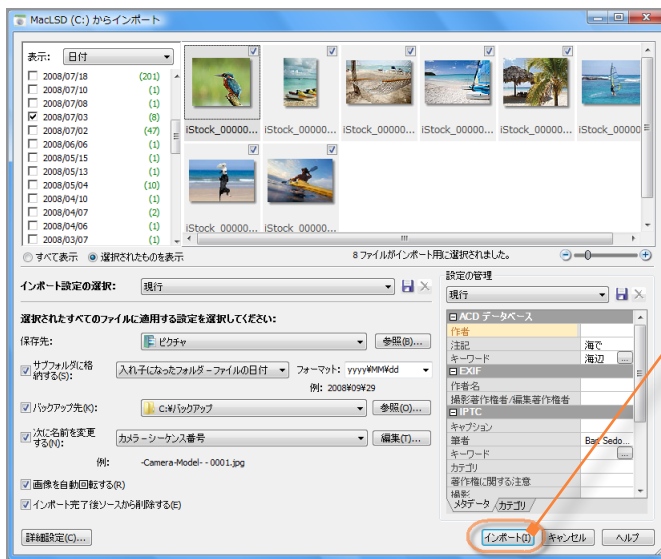
インポートする画像の選択

インポート設定の選択

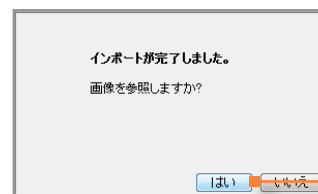
管理設定の選択

インポートの開始

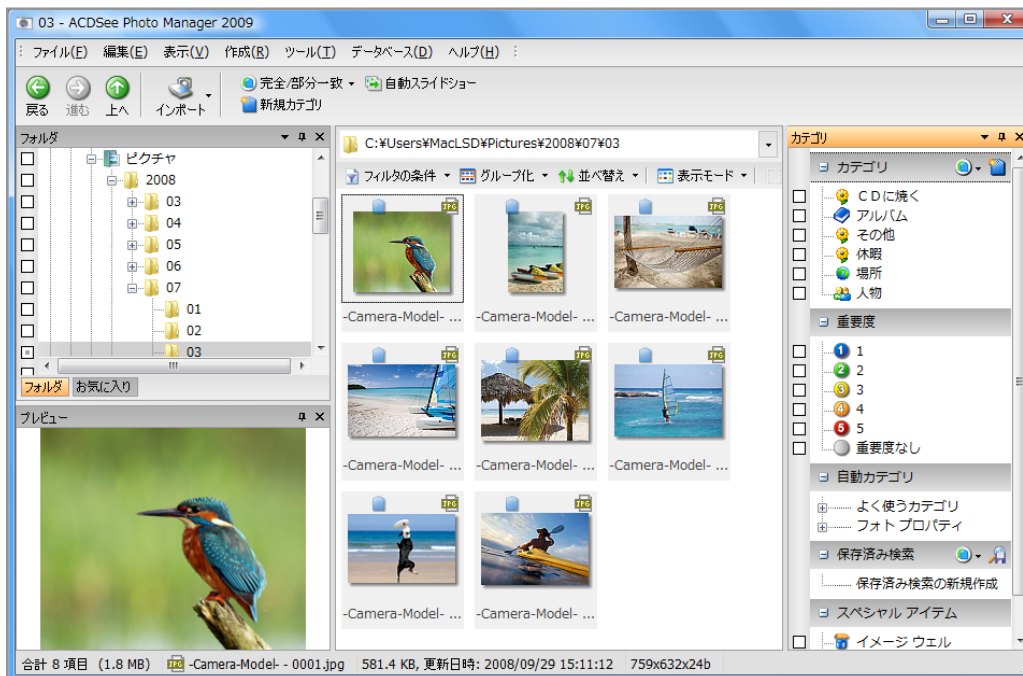
まとめ



[インポート] をクリックして画像のインポート
を開始します。



新しくインポートされた画
像を表示したい場合は、
[はい] をクリックします。



ACDSee のブラウザ内に、
新規フォルダにインポート
された画像のサムネイル
が表示されます。画像を参
照すると、ACDSee はそれ
らの画像のサムネイルとフ
ァイル情報をデータベー
スに保存しますので、次回
以降これらの情報を使って検
索することができます。

デバイス検出について

[インポート] ウィンドウの
使用

インポートする画像の選択

インポート設定の選択

管理設定の選択

インポートの開始

まとめ

このチュートリアルでは、下記のポイントについて解説しました:

- » デバイス検出は個別のアプリケーションで、画像を含んでいるカメラやデバイスがコンピュータと接続されると、自動感知します。
- » [インポート] ウィンドウは、カメラに含まれている画像のサムネイルを日付またはファイルの種類別に表示します。そのため、インポートしたい画像のみを簡単に選択することができます。
- » [インポート] ウィンドウでファイル名の変更や自動回転を行い、ブラウザ内でそれらの変更を確認することができます。
- » 新規フォルダを作成して名前を付け、コンピュータ上の希望する場所に画像を保存することができます。今日の日付ごとにフォルダを作成したり、画像の撮影日ごとにサブフォルダを作成したりして画像を保存することができます。
- » インポートされた画像のバックアップコピーを別のファイル場所に作成して、いつでも画像のオリジナルにアクセスすることができます。
- » カテゴリやメタデータなど、画像に関する情報を追加することで、画像の管理や検索が簡単になります。
- » インポート設定や管理設定を保存し、次回以降、画像をインポートする際に再使用することができます。